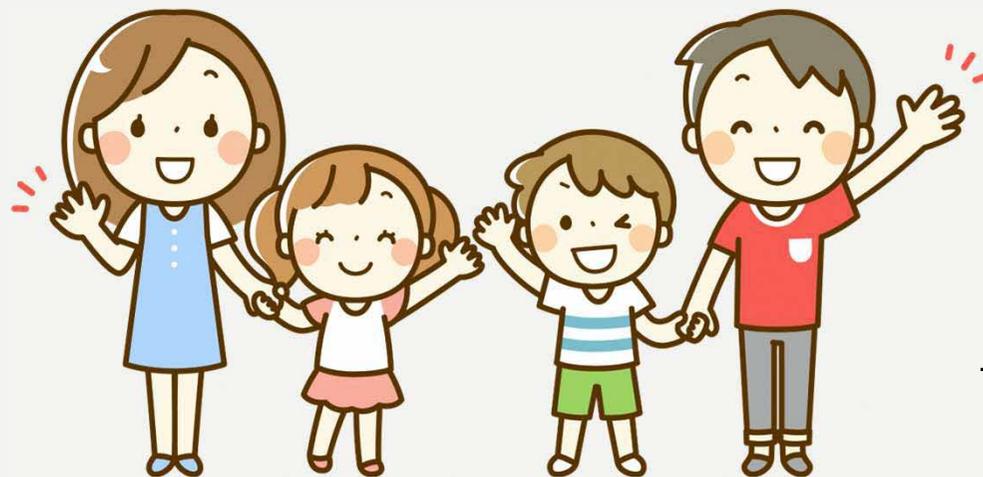


# みはら こどもまんなかかいぎ



三原市 子育て支援課

# かいぎについて

---

日 程：第1回 令和6年8月1日（木）14：00～15：30

対象は小学3年生（9歳）から22歳（全員参加）

第2回 令和6年8月8日（木）14：00～15：30

対象は16歳から22歳

第3回 令和6年8月22日（木）14：00～15：30

対象は小学3年生（9歳）から中学3年生（15歳）

会 場：児童館「ラフラフ」

参加者：実参加人数35名

第1回 25名（小学生10名、中学生3名、16歳から22歳 12名）

第2回 13名（16歳から22歳 13名）

第3回 15名（小学生11名、中学生4名）

# かいぎについて

---

第1回目では、『テーマ①三原の好きなところ』『テーマ②三原のどんなところが住みやすい』について、話し合ってもらいました。参加者は、自分の意見をふせんに書き出して、模造紙に貼りながら、三原市の魅力や、どんなまちになって欲しいかということについて、グループで積極的に話し合いました。

第2回目、第3回目では、『テーマ①将来の三原のまちを考えよう』『テーマ②スローガンを考えよう』について、話し合ってもらいました。会議のはじめに、言葉の連想ゲームでアイデアを発想する練習をしたあと、「三原市にこうなって欲しい」「こんな施設があったらいい」など、三原市の将来像について話し合いました。

「将来のみはらのまち」について出された、たくさんの意見の中から、キーワードを上手く組み合わせて、各グループで三原市のめざす姿について「スローガン」を考えました。

# 話し合いの内容

## テーマ 三原の好きなところ

自然や場所、施設やイベントに関する意見が多くみられました。たとえば、自然を満喫することができること、便利で楽しい施設があること、イベントが多い、食べ物が美味しい等の意見が挙げられました。

## テーマ 三原のどんなところが住みやすい

交通の便に関する意見が多くみられました。また、公共施設が綺麗で使いやすい、商業施設が充実しているという意見がありました。その他、児童館が充実している、子育てがしやすいなど福祉・支援が行き届いているという意見も挙げられました。

# 話し合いの内容

## テーマ 将来の三原のまちを考えよう

### 【 小学生～中学生 】

「自然が豊か」「安心して暮らせる」「様々な施設が充実している」「交通の便が良い」「人との触れ合いがある」などの意見がありました。特に、「自然」に関する意見や、「イベント・施設」に関する意見は、多くのグループから挙げられました。

### 【 16歳～22歳 】

「地域交流」「多世代交流」「住みやすい」「活気がある」「誰でも集まれる場所がある」「高齢者の人が安全に暮らせる」などの意見がありました。特に、地域あるいは多世代の交流が活発なまちであることなど、地域活性化に関する意見は、多くのグループから挙げられました。

# 話し合いの内容

## テーマ スローガンを考えよう

### 【 小学生～中学生 】

- 三原の進化を住んで見よう 一人一人が夢を持つ三原！！ ～明るくはばたける未来へ～
- 笑顔とおきにいりに出会える町！三原
- みんなとなかよく明るい町 ～Our Favorite Place 私たちのお気に入りの場所～

### 【 16歳～22歳 】

- 笑顔でつながる 行きたい 帰りたい町
- 地域とつながる三原 ー世代をこえた町ー
- みんなが明るく輝きをはなつまち 三原
- みんなでつくる天の川
- にぎやかな町 三原を発信 ～生き活きとした三原に集合！～

# 話し合いの様子



# 発表の様子

